

距離の克服 (その2)

穀物輸送とMississippi

・商業的農業地帯の成立は、穀物と畜産物の巨大な輸送需要を生む。
 ・このうち、穀物輸送の大動脈は今も **Mississippi川**。
 ・中西部穀物の半分以上が、Mississippi専用規格の長大な**平底船(Barge)**で運ばれる。

※陸上輸送は、川までの短距離輸送の役割 ... 鉄道4割,トラック1割

Wisconsin南西端付近(1999.8)

・58×10m,1500t規格のBargeを3×5=15個並べて,tow boatで押し運行。



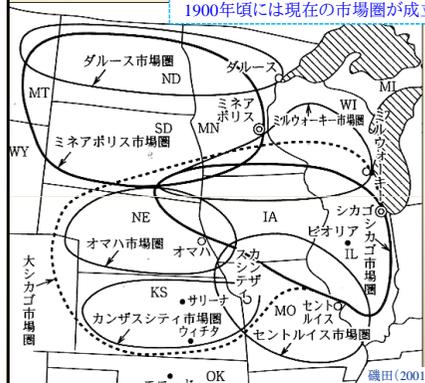



市場都市の成立

・中西部の開拓は輸送路に沿って西へ進む。輸送拠点には**町場**が開け、輸送の便の良い場所には**取引市場**が立地し、**都市**に成長。

・Cincinnati ... 西部開拓初期の穀物や家畜の取引の中心。鉄道の西進につれて、下記の諸都市に中西部の中心都市の地位を譲る。
 ・Chicago ... 鉄道延伸とともに中心市場の座を獲得。その穀物取引所は、全米のトウモロコシ価格を決定。肉牛と豚の巨大市場も立地。

1900年頃には現在の市場圏が成立



	1913~17年の取引額	5穀物合計	小麦	トウモロコシ
入荷量	シカゴ	334,943	65,412	100,592
	ミネアポリス	200,016	120,151	9,366
	カンザスシティ	87,205	55,612	20,422
	セントルイス	80,152	34,209	19,784
	ダールズ	78,093	56,884	862
	ミルウォーキー	72,031	8,062	13,666
	オマハ	66,149	21,275	27,352
7市場合計	918,589	361,605	192,044	
域内消費率 %	シカゴ	24.4	11.1	29.9
	ミネアポリス	44.3	67.9	20.1
	カンザスシティ	22.6	20.9	27.9
	セントルイス	29.1	20.8	44.3
	ダールズ	4.3	4.9	9.6
	ミルウォーキー	32.8	38.8	25.6
	オマハ	8.6	15.9	6.6
7市場合計	26.8	32.3	27.0	

・鉄道と川の結節点に、穀物の貯蔵出荷設備を持つ貯蔵塔(grain elevator)が立地
 ・そこから海の港に運ばれ、各地に移・輸出される。



Sacramento近郊のgrain elevator 高さ20mくらい。(2001.8)



Seattle 港の grain elevator (2001.8)



```

    graph TD
        A[農場] --> B[商社系  
カントリー・エレベーター  
(産地倉庫)]
        A --> C[農協系  
カントリー・エレベーター  
(産地倉庫)]
        B --> D[ターミナル・エレベーター  
(集散地倉庫)]
        C --> D
        D --> E[シーボード・エレベーター  
(港頭倉庫)]
        E --> F[船積み  
(輸出)]
        B --> G[加工業者]
        C --> G
        C --> H[リバー・エレベーター  
(河岸倉庫)]
        H --> D
    
```

穀物メジャー

・集出荷施設を、穀物会社や農協が建設・所有し、契約農家から集荷するシステムが成立。
 ※日本の商社や全農の所有も多い。

・農家と出荷経路の支配によって**巨大企業化したのが「穀物メジャー」**。
 ・穀物だけでなく、食肉、加工、種子開発も一体支配する**総合バイオ企業**へ

◇Cargill
 ・1865,Iowa州で穀物商を始め、穀物倉庫を建設して規模拡大。1906,Minnesotaへ進出。
 ・大企業化の経過 ... 集出荷施設を建設 ⇒ 輸送機関を支配 ⇒ 政府食糧援助を掌握
 ・戦後,Quebecに輸出用エレベータを建設し、**五大湖**水路で穀物を集荷して**欧州市場**へ進出。帰荷用に**ラブラドルの鉱山**や**炭鉱**に投資して開発を促す。
 ・飼料,精肉などの広範な食品分野に進出。**バイオ技術**による**種子開発**にも着手。
 ・今も**株式非公開の個人企業**。
 ・**Minneapolis**郊外の森の中に**要塞**のような本社を構え、**世界の農産物情報**を集積。

◇Continental Grain
 ・創業者はユダヤ系。1870年代の**欧州戦乱**時に**穀物の国際取引**で蓄財。
 ・第一次大戦時,ドイツ軍に追われてイギリスからアメリカへ。
 ・**冷戦**下の1960年代,極秘に**ソ連**との穀物取引を実現して大儲け。CIAに勝る**ソ連情報**を蓄積。

◇Bunge
 ・創業者はユダヤ系。オランダ領アンチルの**ゴム**と**香料**を**欧州市場**に運んで蓄財。
 ・**南米情報**に強く,**アルゼンチン・パンパ**の開発に投資して,これを支配。多角化が著しい。

石川博友(1981)『穀物メジャー』岩波新書

4

表 2-9 穀物流通最大5社による穀物諸段階市場における集中度 (%)

	産地集荷段階	内陸中間段階				最終販路				
		カントリー・エレベーター ^{a)}	サブターミナル・エレベーター ^{b)}	ターミナル・エレベーター ^{b)}	リバー・エレベーター ^{c)}	輸出 ^{d)}	穀物第1次加工			
							小麦製粉 ^{e)}	トウモロコシ化工 ^{f)}	大豆破砕 ^{g)}	配合飼料 ^{h)}
穀物流通による上位5社シェア	ADM カーギル コナグラ バンギ コンチネンタル・グレイン	4.5 3.3 1.0 0.0 0.6	8.4 5.9 11.6 1.5 2.4	17.6 10.8 5.3 1.9 6.8	7.3 8.3 4.1 22.7 5.6	17.2 31.7 4.3 5.1 10.0	20.3 14.7 17.2 — —	37.2 17.4 — — —	33.0 24.0 n.a. 13.0 —	8.0 15.6 0.8 — 3.3
上記の最大5社計	9.5	29.7	42.3	48.1	68.3	52.2	54.6	70.0	27.8	
流通上位10社計	12.0	30.0	64.2	55.1	82.5	57.7	54.6	70.0	32.9	
各部門固有の上位5社シェア	—	—	—	—	75.7	63.3	83.5	87.0	55.5	

※1997年末時 磯田宏(2001)『アメリカのグリビジネス』日本経済評論社

4

穀物関連主要アグリフードビジネスの展開類型(1980・90年代)

◎:新参入, ○:増強, □:維持, △:縮小, ×:撤退, ☆:joint venture

	穀物流通	穀物第1次加工								食肉産業						モルト製造		
		小麦製粉		大豆破砕		トウモロコシ化工		配合飼料		プロイラー	肉牛肥育		牛肉パッキング		翼豚		豚肉パッキング	
		動向	順位	動向	順位	動向	順位	動向	順位	動向	順位	動向	順位	動向	順位		動向	順位
		1997.12	1997.12	1997.9	1997.9	1998	1998	1998	1995	1997	1998.10	1995.11						
ADM	○ 1	○ 1	○ 1	○ 1	☆ 3						☆ 42							
Cargill	○ 2	○ 3	○ 2	○ 2	○ 2	×			○ 4	○ 2	◎ 8	◎ 4	◎					
ConAgra	○ 3	○ 2	◎		○ 25			○ 5	○ 2	○ 3		○ 3	◎					
Buge	○ 4		○ 3															
Continental Grain	×	5				○ 8	○ 6	○ 1			◎ 3							
Farmland Industries	□ 6		×		○ 7			◎		◎ 4	○ 16	○ 6	△					
Harvest States	○ 8	○ 7			○ 19													
Ag processing	◎ 11		◎ 4	◎	☆ 3						☆ 42							
Stanley / Tate & Lyle	△ 40		×	○ 3	◎ 4													
Billsberry / Diageo	×	×			×													
International Multifoods	×	×			×													
Central Soia	△ 13		○ 5	◎ 5	×	×												
Ralston Purina	×		×		×													
CPC Bestfoods			×	4														

磯田宏(2001)による。